

赤潮情報第25号

(八代海：シャットネラ属 注意報続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

八代海と有明海でシャットネラ属が確認されました。

本日、熊本県が八代海を調査したところ、三角西港でシャットネラ属が海水1mL 当たり1細胞が確認されました(詳細は下図を参照して下さい)。

本種は極めて有害で、海水が着色しない程度の細胞数でも魚介類がへい死することがありますので、周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に十分注意してください。

また、八代港内港の表層ではクロロディニウム ポリクリコイデスが海水1mL 当たり48細胞が確認されたので(注意報発令中)、併せて注意して下さい。

なお、有明海では、宇土市赤瀬漁港でシャットネラ属が海水1mL 当たり10細胞が確認されたので(警報発令中)、引き続き警戒して下さい。

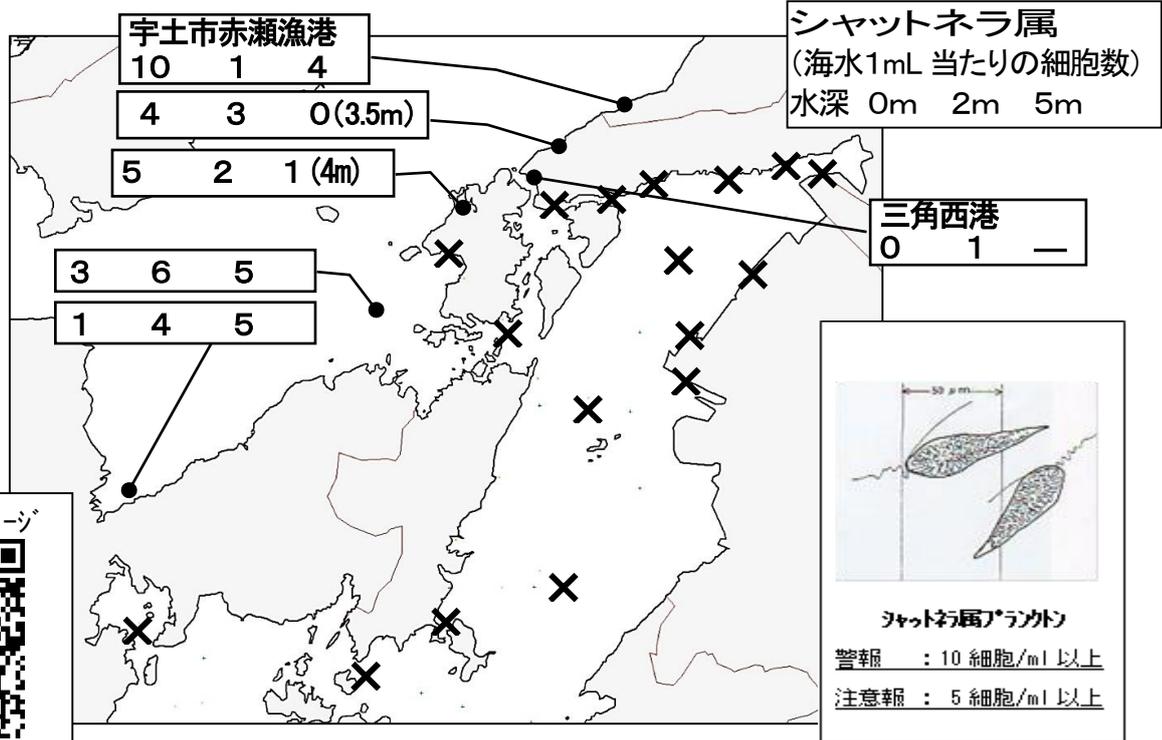


図 赤潮発生海域

※数字は左から順に、水深0、2、5mのシャットネラ属の海水1mL 当たりの細胞数です。
※×印：全ての採水層でシャットネラ属が0細胞(採水層：0m、2m、3.5~5m。但し松合漁港及び八代海東部沿岸は0m)

※—印：未調査

※本情報では、三角西港(今回シャットネラ属が検出された地点)は八代海として扱っています。

赤潮情報 ホームページ

